学校番号	1301

令和８年度　総合科

教科	総合	科目	N-TIME	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

自分たちの生活にかかわる課題を解決するための知識や技術を身につけましょう。そこで得た知識や技術で、幅広い視野と問題解決能力を身につけ、よりよく生きるために行動してほしいです。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
自らの生活にかかわる課題を解決するための知識や技術を習得する。
【思考力、判断力、表現力等】
幅広い視野と問題解決能力を身につける。
【学びに向かう力、人間性等】
主体的な学習態度や、物事を総合的に理解し行動する能力を身につける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	自らの生活にかかわる課題を解決するための知識や技術をグループワーク等で他の生徒と協働して習得する。	自らの意見や感想等を記述し、学習内容を知識として習得する。また、自らの意見や感想等を発表する力をつける。	設定課題についてのグループワークや実技に主体的に取り組み、深く考察し、積極的に意見発表できるようになる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
ステージ1	SST(ソーシャル・スキル・トレーニング)	・自己紹介 ・コグトレ ・アンガーマネジメント ・カウンセリング入門 ・となりカフェ ・まとめ	a:青年期におけるコミュニケーションについて学ぶ。 自らについて知る。 b:「自分の取り扱い説明書」をつくり、他者へ伝える。 c:積極的に参加する。 自分だけではなく他者とともに取り組もうとする。	プリント学習 ロールプレイングへの参加	気付きシート 発表	参加の姿勢。 まわりの人への気遣い・言葉かけの姿勢。
ステージ2	ふくし入門	・「ふくし」って何？ ・「ジャムのビン」から考える「ふくし」 ・「ふくし」の意味について ～㋫だんの　㋽らしを　㋠あわせに～ ・「ふくし」の場面であなたならどうする？ ・高齢者を理解しよう ・「子どもの権利」を考えよう	a:「ふくし」について、自分に関わる福祉について理解し気づく。 b:自分と「ふくし」との関わりについて自ら考え表現する。 c:グループワークで積極的に参加する。自分だけではなく他者とともに取り組もうとする。	ワークシート	ワークシートの感想と発表	グループワークにおいて自ら参加し、周囲の人とのやり取りを通して発表する。
ステージ3	働くことの法律学	労働法をグループワークやロールプレイを通して、学習し、自分や仲間の労働者の権利を行使する力を養う。	a:グループワークに積極的に参加する。 b:学習内容を知識として定着させる。 c:深く考察し、意見発表する。	プリント	プリントの記述内容	グループワークの観察 意見発表
	くらしと防災	様々な災害の知識を身につけ、防災について考える。そして、防災について学んだことをもとに課題を設定し、研究を行う。	a:災害の種類やしくみ、防災の知識を理解しようとしている。 b:防災や避難の課題について考え、表現しようとしている。 c 防災について興味関心を持ち、意欲的に課題に取り組んでいる。	ワークシート	ワークシート記述内容 発表	ワークシート感想 授業態度

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度